

OB・OG訪問

志望企業がある程度固まったら、その企業に勤務している本学の卒業生を訪問することを勧めます。情報収集、志望意思の伝達、本選考前の予備面接でもあります。企業研究での疑問点を質問し、あなたが就職活動にどう取り組んでいるのか、どんな企業研究をしているのかを伝えることができます。また、就職活動の先輩でもあるので、先輩の体験談やアドバイスも貴重な情報となりますし、会社案内でわからない雰囲気や社風もある程度つかめます。

OB・OGの探し方

同窓会名簿やゼミ・サークルなどの名簿から調べるのが一般的ですが、企業の人事部へ直接問い合わせても差し障りありません。志望する企業にOB・OGがない場合は、企業からほかの先輩社員を紹介してもらえます。

訪問時期

3月～5月にかけて訪問するのが一般的ですが、年度末から年度当初にかけての忙しい時期とも重なりますので、相手の都合をあらかじめ確認することを心がけてください。

訪問時の心構え

訪問にあたってはつぎのことに留意する必要があります。

- 手紙や電話で必ずアポイントメントを取る
- 質問事項はまとめてメモしておく
- 志望動機と自己PRをまとめておく
- 基本情報はインプットしておく
- 約束の時間より早めに到着するように心がける
- 服装、言葉づかい、態度に注意すること
- 相手の話をよく聞く
- 訪問後は礼状を出す

ワンポイント
アドバイス

1. 卒業生の配属先に注意

訪問したい卒業生を探しても、古い名簿だと配属先が変わっていることがあります。そんな場合、代表電話にかけて事情を説明しましょう。また、大企業では何度も内線にまわされることもあります。そのつど、大学名と氏名を名乗る必要があります。

2. 質問は具体的に

卒業生に対して、知ったかぶりや決めつけで話をしないようにしましょう。また、漠然とした質問ではなく、より具体的に質問できるように用意しておきましょう。

3. お礼状はマニュアル本の丸写しを避ける

マニュアル本を丸写しすると、ほかの人と同じ文面になって自分らしさが伝わりません。お礼状は気持ちを込めて自分の言葉で書きましょう。